

健康犬での IDEXX Cancer Dx

他のがんスクリーニング検査との比較

IDEXX Cancer Dx™ は、現在ヒトのがんスクリーニング検査において広く一般的に使用されている標準的手法と同等、あるいはそれを上回る性能を示しています⁶⁻⁷。さらに、IDEXX Cancer Dx は、リンパ腫に特異的な検査結果だけでなく、多くの症例で表現型を含めた検査結果を提供します。

項目	IDEXX Cancer Dx	マンモグラフィー ⁶	大腸内視鏡検査 ⁷
感度	79%*	65-94%	75-95%
特異度	99%*	50-98%	89-94%

臨床的に健康な犬における、IDEXX Cancer Dx

リンパ腫 陰性

リンパ腫 陽性

ヒストリー、身体診察、血液検査を
確認

病気の徴候/リンパ腫の疑いがあるか

- + リンパ節の腫大
- + 多尿/多飲と高カルシウム血症
- + 消化管腫瘍
- + 両側性ぶどう膜炎

- + 中等度～重度のリンパ球増加[‡]
- + クレアチニンの上昇を伴わない
SDMA の上昇
- + 原因不明の発熱

不要

はい

4-8週間後に再度、身体診察を実施
(特にリンパ節の触診)

正常

病気の徴候

リンパ腫の臨床診断を支持

胸部X線検査や腹部超音波検査などの画像検査、あるいは細胞診や組織生検といった手法を用いたステージ分類を検討し、どのリンパ節、臓器、または腫瘍に異常なリンパ球が存在しているかを特定

次回の定期健康診断時に評価[†]

*検査性能は、精度検証試験および精度確認試験に基づいています。

† AAHAは、高齢犬には半年に1回の健康診断を、その他の犬には年1回の健康診断を推奨しています¹⁴。

[‡]リンパ腫を示唆する他の臨床症状が認められない場合には、フローサイトメトリーなどの追加検査を検討するとともに、軽度～中等度のリンパ球増加について、他のリンパ増殖性疾患(例:慢性リンパ性白血病)の可能性を考慮しつつ経過観察を行ってください。

症状がある犬での IDEXX Cancer Dx

リンパ腫を疑う犬における、IDEXX Cancer Dx と他の検査の違い

項目	IDEXX Cancer Dx	細胞診 ⁸	リンパ腫 PCR (PARR) ⁹⁻¹¹
感度	79%	92.6%	75-92%
特異度	99%	89.4%	94-98.7%
検査所要時間 ⁵	6-8日	3-5日	7-10日
検体の種類	血清とEDTA全血	病変部の細胞	病変部の細胞
費用	¥	¥¥	¥¥¥

リンパ腫の表現型解析

項目	IDEXX Cancer Dx	リンパ腫 PCR (PARR) ¹²⁻¹³	フローサイトメトリー ¹³
B細胞の特異度	91.3%	67-89%	100%
T細胞の特異度	98.8%	64-100%	98%
検体の種類	血清とEDTA全血	病変部の細胞	病変部の細胞
特殊な取り扱い	不要	不要	はい
費用	¥	¥¥¥	¥¥¥

